

5. 医療情報システム計画

ア. 基本方針

- 1) 患者サービスの向上・診療支援のための迅速な情報提供を目的とした診療・患者情報、会計の機能的な情報システム（院内情報システム）の確立を目指す。
- 2) 電子カルテシステム導入や部門システム間の連動等により、業務の効率化を図るとともに、将来的には地域医療機関との連携システム等も検討する。

イ. 機能・規模

システム名	
基幹システム	電子カルテシステム ・オーダーリングシステム※
	看護業務支援システム ・看護診断、計画システム ・クリニカルパスシステム ・褥創管理システム ・患者認証システム ・管理日誌作成システム ・看護師勤務管理システム
診療科支援システム	眼科部門システム
	透析部門システム
	NST 栄養管理システム
診療支援システム	地域医療連携システム
	文書管理システム
	診療情報管理システム
	がん登録システム
	相談業務支援システム
	健康診断システム
情報共有システム	グループウェア
リスク管理システム	インシデント管理システム
部門システム	医事会計システム ・レセプトチェックシステム ・DPC分析システム ・自動再来受付器 ・自動精算機 ・窓口会計順番表示システム

部門システム	薬剤部門システム ・調剤支援システム ・持参薬管理システム ・服薬指導システム ・医薬品情報提供システム ・薬品在庫管理システム
	手術部門システム ・麻酔管理システム
	検査部門システム ・採血採尿管理システム ・検体検査システム ・生理検査システム ・生体情報管理システム ・細菌検査システム ・病理検査システム ・輸血管理システム ・内視鏡検査システム
	放射線部門システム ・RIS(放射線部門情報システム) ・PACS※(画像保存通信システム) ・読影レポートシステム ・動画ファイリングシステム
	リハビリ部門システム
	栄養部門システム ・栄養指導支援システム
経営管理システム	経営分析システム
	原価管理システム
	給与管理システム
	DWH(データ蓄積検索システム)

- 1) 大量の画像情報を伝送するため基幹部分は高速ネットワークとする。
- 2) 災害時、トラブルに備えて信頼性のあるネットワークを形成する。

以下に医療情報システム計画の概念図を示す。

医療情報システム導入、構築計画概念図

